

実務経験のある教員による授業科目一覧【鍼灸学科 夜間部】

科目名	単位数	学年	担当教員名	実務経験
生命科学1	2	1	安納 弘道	久留米大学医学部解剖学第2講座に6年間携わった実績を踏まえ、組織学総論について講義する。
生命科学2	2	1	安納 弘道	久留米大学医学部解剖学第2講座に6年間携わった実績を踏まえ、組織学総論について講義する。
栄養学	2	1	竹並 恵里	食品企業の研究員としてスポーツ栄養の研究開発に従事後、管理栄養士として健康づくりやアスリート支援の現場に立ち、数多くの栄養指導・セミナーを担当。健康・アスリートのための「筋骨栄養学」を専門とし、書籍も出版。大学にて「筋肉と健康」に関する研究にも従事。これらの実務経験をもとに、栄養学の基本、正しい食事の提案法について話をします。
スポーツ科学	1	1	鬼頭 健介	スポーツトレーナーという仕事を通じて行ってきたトレーニング・ストレッチ等の知識と、医療従事者として行っている施術技術や知識を本講義で伝えていく。
東洋医学思想	1	1	東郷 俊宏	京都大学人文科学研究所、鈴鹿医療科学大学、東京有明医療大学における東アジア医学史研究、医学概論、老年鍼灸学、養生鍼灸学の教育経験。
漢方	2	2	王 瑞霞	中国山東中医学大卒業、北京中医学大大学院修了し、中醫師資格を持つ。日本の漢方薬専門薬局にて約20年の実務経験があり、日本の漢方専門医との交流もある。それらの経験を踏まえて講義する。
東洋医学概論1	2	1	天野 陽介	北里大学東洋医学総合研究所に上級研究員として勤務し、東洋医学を研究。東洋医学関連学会(日本東洋医学会、全日本鍼灸学会、日本伝統鍼灸学会など)の委員として活動。これら東洋医学研究の実務経験をもとに東洋医学概論を講義します。
東洋医学概論2	2	1	天野 陽介	北里大学東洋医学総合研究所に上級研究員として勤務し、東洋医学を研究。東洋医学関連学会(日本東洋医学会、全日本鍼灸学会、日本伝統鍼灸学会など)の委員として活動。これら東洋医学研究の実務経験をもとに東洋医学概論を講義します。
経絡穴概論1	2	1	徳江 謙太	・九州の専門学校で8年、関東で6年、計14年経絡穴の講義を担当。・臨床の現場でも、筋肉や経穴を用いた治療を16年行っている。
経絡穴概論2	2	1	徳江 謙太	・九州の専門学校で8年、関東で6年、計14年経絡穴の講義を担当。・臨床の現場でも、筋肉や経穴を用いた治療を17年行っている。
経絡学・経穴学	2	2	鎌田 剛	天津中医学大の修士課程を修了し、岐阜大学第二内科で鍼灸臨床に7年間携わり、同時に鍼灸専門学校にて20年間の教育活動に従事。その後、卒業研修を兼ねた臨床研修施設を立ち上げ、十数年にわたり鍼灸臨床と卒業研修に従事。中医学に関する執筆も行っている。これらの経験を踏まえ、東洋医学について講義する。
中医弁証	2	2	王 瑞霞	中国山東中医学大卒業、北京中医学大大学院修了し、中醫師資格を持つ。日本の漢方薬専門薬局にて約20年の実務経験があり、日本の漢方専門医との交流もある。それらの経験を踏まえて講義する。
東洋医学臨床論1	2	2	鎌田 剛	天津中医学大の修士課程を修了し、岐阜大学第二内科で鍼灸臨床に7年間携わり、同時に鍼灸専門学校にて20年間の教育活動に従事。その後、卒業研修を兼ねた臨床研修施設を立ち上げ、十数年にわたり鍼灸臨床と卒業研修に従事。中医学に関する執筆も行っている。これらの経験を踏まえ、東洋医学について講義する。
東洋医学臨床論3	2	2	高橋 和文	鍼灸治療を往診で18年、鍼灸大学での附属施設での11と様々な疾患に対して鍼灸治療をきたした臨床経験があり、これらの実務経験をもとに本講義を行う。
東洋医学臨床論4	2	2	高橋 和文	鍼灸治療を往診で18年、鍼灸大学での附属施設での12と様々な疾患に対して鍼灸治療をきたした臨床経験があり、これらの実務経験をもとに本講義を行う。
東洋医学臨床論5	2	3	山中 直樹	柔道整復師として接骨院に8年間勤務。また、鍼灸院を開業して14年の訪問診療等における実務経験をもとに 経絡穴概論、東洋医学臨床論などの内容を含め話をします。介護施設で10年施術をしてきた実績を踏まえ、鍼灸師としての観点から高齢者に多くみられる疾患について講義する。
はり基礎実技	2	1	柳 知佳	四国の専門学校で11年間講義・実技を担当。臨床では鍼灸接骨院・鍼灸院に勤務。基礎実技の重要性を伝え2年次に繋がる授業となるよう掛けしていく。
きゅう基礎実技	2	1	中村 幹佑	中国山東中医学大卒業、北京中医学大大学院修了し、中醫師資格を持つ。日本の漢方薬専門薬局にて約20年の実務経験があり、日本の漢方専門医との交流もある。それらの経験を踏まえて講義する。
触察実技	2	1	中根 わたる	10年を超える臨床経験から中国鍼灸実技を指導する。取穴の重要性を学び身に付けることを目的と考え、まずは教科書通りに取穴、多数取穴に慣れてきたら、臨床に使えるように圧痛などがわかるようになる。同時に解剖学に基づく安全な鍼の運用を身に付ける。
中国鍼灸実技	2	2	宮脇 香代子	北里大学東洋医学総合研究所に上級研究員として勤務し、東洋医学を研究。東洋医学関連学会(日本東洋医学会、全日本鍼灸学会、日本伝統鍼灸学会など)の委員として活動。これら東洋医学研究の実務経験をもとに東洋医学概論を講義します。
美容鍼灸実技	1	2	折橋 梢恵	北里大学東洋医学総合研究所に上級研究員として勤務し、東洋医学を研究。東洋医学関連学会(日本東洋医学会、全日本鍼灸学会、日本伝統鍼灸学会など)の委員として活動。これら東洋医学研究の実務経験をもとに東洋医学概論を講義します。
診察治療実習	2	2	大島 貞昭	京都大学人文科学研究所、鈴鹿医療科学大学、東京有明医療大学における東アジア医学史研究、医学概論、老年鍼灸学、養生鍼灸学の教育経験。
日本鍼灸実技1	1	2	岡本 貴姿子	天津中医学大の修士課程を修了し、岐阜大学第二内科で鍼灸臨床に7年間携わり、同時に鍼灸専門学校にて21年間の教育活動に従事。その後、卒業研修を兼ねた臨床研修施設を立ち上げ、十数年にわたり鍼灸臨床と卒業研修に従事。中医学に関する執筆も行っている。これらの経験を踏まえ、東洋医学について講義する。
日本鍼灸実技2	1	2	中村 幹佑	鍼灸治療を往診で18年、鍼灸大学での附属施設での11と様々な疾患に対して鍼灸治療をきたした臨床経験があり、これらの実務経験をもとに本講義を行う。
婦人鍼灸実技	1	3	前田 尚子	鍼灸治療を往診で18年、鍼灸大学での附属施設での12と様々な疾患に対して鍼灸治療をきたした臨床経験があり、これらの実務経験をもとに本講義を行う。
小児・高齢者鍼灸実技	1	3	山中 直樹	柔道整復師として接骨院に8年間勤務。また、鍼灸院を開業して14年の訪問診療等における実務経験をもとに 経絡穴概論、東洋医学臨床論などの内容を含め話をします。介護施設で10年施術をしてきた実績を踏まえ、鍼灸師としての観点から高齢者に多くみられる疾患について講義する。
現代鍼灸実技	1	3	森田 義之	経絡治療の臨床に20年携わった経験から初心者向けの69難型の治療方法を講義、説明する。
スポーツ鍼灸実技	1	3	森田 義之	大森北整骨院、横浜医療専門学校附属鍼灸院、敬心鍼灸院などで腹診を中心とする施術を取り入れて10年以上臨床に関わってきました。
臨床実習1	1	2	青木 春美	自身の美容鍼灸サロンや、エステティックサロン、美容クリニック、美容室などとも提携し、美容鍼灸の施術を行う傍ら、美容鍼灸の会を主宰している。以上の経験から、教育と臨床の双方の経験から現場で活かせる美容鍼灸技術をお伝えします。
臨床実習2	1	2	青木 春美	助産師として、20年間の病院の産科病棟勤務と助産院での分娩助産の実績と、15年間の鍼灸師として産科・婦人科の施術の実績がある。臨床での助産師・鍼灸師の観点から、妊娠・出産・産後、不妊等について講義する。
臨床実習3	1	3	青木 春美	10年以上鍼灸院経営。その経験を踏まえ、病の病因からアプローチを重視する。
臨床実習4	1	3	青木 春美	11年以上鍼灸院経営。その経験を踏まえ、病の病因からアプローチを重視する。
総合演習1	1	1	天野 陽介	12年以上鍼灸院経営。その経験を踏まえ、病の病因からアプローチを重視する。
総合演習3	1	2	天野 陽介	13年以上鍼灸院経営。その経験を踏まえ、病の病因からアプローチを重視する。